

第64回いそご文化資源発掘隊

旧杉田劇場の看板役者 大高ヨシヲの謎に迫る

2024年

3/5(火)

1回目
2回目

13:30 (受付 13:00)
18:30 (受付 18:00)

講師 井上学

脚本家・演出家 杉劇☆歌劇団指導者
FT 興行商社代表 暗渠探索者
ブログ「大高ヨシヲを探せ！」管理人

横浜市磯子区民文化センター
杉田劇場4階 リハーサル室

定員 各回とも50名(先着順)
参加費 700円(含資料代)

昭和21年1月1日にオープンした旧「杉田劇場」。この年の3月、加藤和枝ちゃん(のちの美空ひばり)が休憩時間中に舞台幕の前に立ち、アカペラで歌っていました。4月には杉田劇場の専属劇団だった大高ヨシヲ一座と同じ舞台に立つようになり、その後のブレイクにつながっていきます。

この劇団の座長だった大高ヨシヲは男前で演技もうまく、たくさんファンが連日押しかけ、観客を運ぶ京浜急行は大儲けをしたという報告が残っています。

しかし、彼は10月に巡業先の長野県木曾の山間で、乗っていたトラックが崖から転落し亡くなってしまいました。旧杉田劇場で大活躍していたのはたった半年だったのです。

顔写真もなく、生年、出身地も分からないこの役者の謎を追いかけている人がいます。脚本家・演出家の井上学さんです。そんな大高ヨシヲを調べていくと、意外な事実が浮き上がってきました。



旧杉田劇場に残されていた大高ヨシヲ葬儀の写真。
位牌に書かれている文字は…? 式場の寺は何処…? これが戦後間もなくの喪服なのか…? そして骨壺の中は本当に大高か…?

【申込方法】チラシ裏面の申込書に必要事項を明記の上、下記
のいずれかの方法でお申し込みください。

- ◆申込書をFAX送信もしくは郵送◆必要事項をメール送信
- ◆申込書を当館へ直接持参◆写メール

※杉田劇場のホームページのフォームからもお申し込みできます。
〒235-0011 磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田 4階
横浜市磯子区民文化センター杉田劇場
TEL 045-771-1212 FAX 045-770-5656
メール sugigeki@yaf.or.jp

主催 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体)

FAX 045-770-5656
E-mail : sugigeki@yaf.or.jp

第 64 回いそご文化資源発掘隊参加申込書

〆切：2月28日（水）※当日消印有効



この QR コード
からも申し込み
ができます

第 64 回いそご文化資源発掘隊 参加申込書

ふりがな		年代	
お名前		20代以下 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上	
ご住所	区		
お電話			
FAX		E-mail	

【申込方法】この用紙にご記入のうえ、メール、FAX、郵送、持参で杉田劇場までお送りください。あるいは、この内容をメールもしくは記入済み申込書の画像添付メールでもOKです。 E-mail: sugigeki@yaf.or.jp

美空ひばりは大高ヨシヲ劇団
の演劇を見ていたのか？

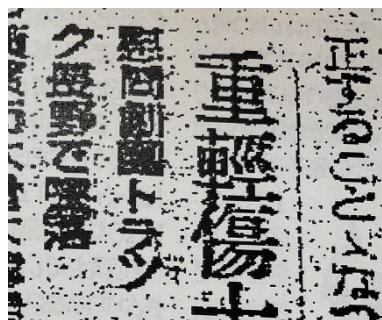
昭和21年4月のポスターには「美空楽団」「美空一枝ちゃん」と出演者名が書かれている。

同じ楽屋で言葉を交わしていたかどうかは不明だが、ひばりとの接点はここだけだったはず。少女はこのあと一気に大スターに駆け上っていくのに対し、大高は半年後に……



昭和10年代後半のパフレット

浅草・金龍館で公演された「三座合同競艶大会」のパンプには「よし男」と表記されている。さらに「近代歌舞伎年表 京都篇」を見ると、昭和17年には三友劇場で大高よし男が主演、あるいは伏見澄子一座に客演していたことも判明。これにより大高ヨシヲの芸名は「大高よし男」だったことが確定した。



左：昭和21年10月3日の読売新聞(神奈川版)

…重軽傷…慰問劇団トラック長野で墜落…とある。

事故は10月1日の夜9時頃に発生、現場は長野県西筑摩郡大桑村須原だった。トラックは東京都向島区東亜合資会社所有で、某劇団員21名その他3名を乗せていた。ケガ人は長四郎(35)さん他3名で骨折、脱臼1名軽傷6名。ケガ人が収容されたのは須原清水医院だった。

右：須原清水医院

須原清水医院は島崎藤村の小説にも出てくる歴史的建造物で、現在は愛知県の明治村に移築されている。

